

心のハーモニー 合唱コンクール

金賞・銀賞おめでとうございます。

金賞

3年4組
2年1組
1年1組

銀賞

3年2組
2年4組
1年4組

ベストコンダクター賞

3年 谷 和磨 さん
2年 山下 七海 さん
1年 深見 紗妃 さん

9月29日に、合唱コンクールが行われました。この日のために、どの学級でも、精一杯練習を重ね、当日を迎えました。各学級のハーモニーは、大変すばらしく、各学年の特色があらわれていたように思います。1年生は、協力して練習し本番を迎えるという次の学年につながる貴重な経験になったと思います。1年生らしいフレッシュな歌声でした。2年生は、先輩としての風格がありました。岩屋中学校を担っていく立場にふさわしい歌でした。経験は力なりを実証したと思います。3年生は、さすが3年生と思わせる合唱で、感動しました。甲乙つけがたく、全学級素晴らしい歌声でした。そして、後輩に、合唱とはどのようなものかをしっかり示した素晴らしい歌声でした。3年生の底力を感じました。

さて、学校行事だけでなく、私たちの学校生活では、練習があって本番を迎えます。『本番で良い成績を残せるようになること＝強くなること』と考えると、強くなるための練習が大切になります。今回の合唱コンクールでいえば、パート練習であったり、ブレスの確認であったり、全体練習であったり、形態はさまざまですが、『上手になるために練習する』という『過程』がありました。特に、3年生は、その過程の頑張りがあったからこそ、素晴らしい歌後になったと思います。

- 上手になるために練習をする。＝本番（試合）でよい結果を残すために最も必要なこと。
- 練習＝練習すること自体に意味があるのではなく、大切なのは、上手になろうとする練習かどうか。
- 本番でよい結果を残すことができる。＝良い練習ができた証。
- 協力し合って練習ができる。＝支えあうことができる強いチーム
- 強いチームで生活する → 個人が一層成長する

練習をいろんなことに置き換えることによって、さまざまなことに応用できると思います。学習面では練習というのは何に当たるか、家庭での練習というのは、何にあたるかなど考えてみましょう。



1年1組



2年1組



3年4組



3年生の金賞を受賞した3年4組は、10月13日に行われる連合音楽会に本校代表として出場します。

※WEBに掲載する関係上、個人情報保護のため、アップの写真を使用せず、解像度を低くして対応しています。ご了承ください。